

看護学部	職名	准教授	氏名	山田美幸
------	----	-----	----	------

1. 教員紹介・主な研究分野

看護師として大学病院にて脳神経外科・眼科、皮膚科、血液・消化器内科に勤務した後、大学の教員になりました。その間、看護学修士を修得し、熊本大学大学院 保健学教育部保健学専攻博士後期課程を単位取得後退学しました。教員としてはこれまで「基礎看護学」を担当して来ましたが、令和5年度福岡県立大学に着任し、主として「看護の統合と実践」の科目を担当しています。新カリキュラムになり、これまで得た経験を3・4年生の教育にどのように繋いで深化させていくか、常に問いながら教育をしていきたいと考えています。

研究については、これまでに「特別養護老人ホームのターミナルケア」「子どもの入院に付き添い家族」「新卒看護師の離職防止に向けた支援」「独居高齢者の介護予防」「看護学生のリフレクション」「児童虐待防止の支援策」に関する研究に取り組んできました。現在は「介護施設における心理的安全性」に関する研究を行っています。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・
- ・
- ・

②その他最近の業績

<学会発表>

- ・ 前原宏美, 山田美幸 (2022) : 精神科看護師の行動制限における倫理的問題に関する文献的検討, 第17回医療の質・安全学会学術集会 (神戸: オンデマンド)
- ・
- ・

③過去の主要業績

- ・ 山田美幸, 津田紀子, 前田ひとみ (2015) : 看護学生が臨地実習におけるケアリング体験の意味を構築する過程, 日本看護教育学会誌, 第22巻第3号, p.1~12.
- ・ 岩本テルヨ, 山田美幸, 加瀬田暢子 (2009) : 特別養護老人ホーム在所者の最後の場の決定に関わる現状と課題ー全国調査を通してー, 山口県立大学学術情報, 第2号, p8~14.
- ・ 山田美幸, 前田ひとみ, 津田紀子, 串間秀子 (2008) 新卒看護師の離職防止に向けた支援の検討ー就職3か月の悩みと6か月の困ったことの分析ー, 南九州看護研究誌, 第6巻1号, p47~54.

3. 外部研究資金

科学研究費助成事業 (基金分) 基盤研究 (C) 令和6年~9年, 交付金額 3250 千円, 研究課題: 虐待防止を目指した介護職員の心理的安全性を高めるプログラムの構築 (研究代表者)

4. 受賞

5. 所属学会

日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本看護学教育学会、クリティカルケア学会

6. 担当授業科目

対人関係と看護・1単位・1年・前期、教養演習・1単位・1年・前期、暮らしを知る実習・1単位・1年・後期、看護倫理学・1単位・2年・前期、看護研究・2単位・2年・後期、基礎看護学実習Ⅱ・2単位・2年・通年、専門看護学ゼミ・2単位・3年・通年、統合実習・2単位・4年・通年、卒業研究・2単位・4年・通年、臨床看護学特別研究・1～2年・8単位・通年（研究指導補助教員）

7. 社会貢献活動

8. 学外講義・講演

9. 附属研究所の活動等